

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社 平賀  
コード番号 7863  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中前 圭司  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 上出 真太郎 TEL (03) 3991-4541  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,389	7.5	99	△15.2	119	△13.8	80	△29.9
2023年3月期第1四半期	2,222	18.4	116	100.7	138	97.5	114	232.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 27.72	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	円 銭 39.40	円 銭 —

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年3月期第1四半期	百万円 6,680	百万円 3,412	% 51.1	円 銭 1,182.35
2023年3月期	6,586	3,369	51.2	1,166.69

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,412百万円 2023年3月期 3,369百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 30.00	円 銭 30.00
2024年3月期	円 銭 —				
2024年3月期(予想)		0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	4.5	210	2.6	245	1.8	170	△15.3	58.72
通期	9,300	3.2	460	0.2	530	1.3	370	△6.5	127.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	4,015,585株	2023年3月期	4,015,585株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,129,171株	2023年3月期	1,127,171株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	2,887,623株	2023年3月期1Q	2,897,865株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	.....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	.....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	.....	P. 2
(3) 業績予想などの将来予想情報に関する説明	.....	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	.....	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	.....	P. 4
(2) 四半期損益計算書	.....	P. 6
第1四半期累計期間	.....	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	.....	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	.....	P. 7
(5) セグメント情報	.....	P. 7
(6) 重要な後発事象	.....	P. 7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に見直され、社会経済活動が回復し始めた一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による原材料価格の高騰や、供給面での影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いています。

印刷業界においても、デジタル化の加速による紙媒体の需要減少、原材料の供給面での制約や価格高騰など、事業環境に厳しさが増しています。

当社の主要クライアントである小売業界においては、他業種も含めた競争の激化に加えて、人手不足による人件費と、光熱費等の上昇が深刻化しています。また、商品メーカーなどの相次ぐ値上げによる販売価格への転嫁、記録的な大雨、消費者の生活防衛的な節約志向の高まり等が、業績に与える影響は不透明な状況となっており、より一層の工夫と様々な対応が求められる市場環境が続いています。

このような状況の中、当社は2023年4月より、「小売流通の今日を見つめ、明日をデザインする。」を新たなミッションに掲げ、「Retail Tech Innovation 販促のあらゆる不満や不便、不足を解消し、小売の課題解決が日本一得意な会社へ」という中期ビジョンのもと、コンサルティングを通して、顧客の販促戦略の構築とマーケット機会の拡大を支援しました。同時に、小売販促の業務改善に特化したソリューションの提供で、損益の改善を推し進め、更には小売課題の高度化に対応するため、データを利活用した「自然と足が向く」「もう一品買いたくなる」販促のアプローチや、それら付帯サービスの強化拡大に努めてきました。

また、原材料をはじめとしたコストアップに対しては、引き続き価格転嫁を含めた機動的なプライシングコントロールを実施すると共に、材料購買手法や取扱い品目の見直し、外注業務の内製化を促進しています。さらに、2023年6月から、埼玉工場において、省エネ化とCO<sub>2</sub>の削減を目的とした、太陽光発電システムの稼働を開始しました。加えて、2023年8月から、将来に向けた売上の拡大や、顧客の囲い込み及び生産管理体制の強化を目的とした、次世代基幹システム「NEXT-CORE」の稼働を開始いたします。

一方、2023年1月から、ビジョン実現のための人的資本形成と中長期の成長を見据えた、リスクリテラシー研修「R(リテール)+Thinking」が全社規模でスタートしています。さらに、2023年6月から、埼玉工場では、働きがいと自律的な成長につなげるために、環境や制度及び教育の再設計に向けた「生産革新プロジェクト」もスタートしました。こうした積極投資により、失敗を恐れず、挑戦する人材の育成を促進し、一人ひとりの成長を、企業価値の向上に結びつけていくなど、着実に利益を積み上げる体制を整えております。

以上の結果から、当第1四半期累計期間の業績は、売上高につきましては、既存顧客への新商材の販路拡大や、新規顧客の開拓が順調に進み23億89百万円(前年同四半期比7.5%増)となりました。営業利益につきましては、中長期の成長を見据えた人材育成や設備機器等への積極投資影響、また、原材料や燃料等のコスト高騰による原価上昇影響を一部補いきれないことにより99百万円(前年同四半期比15.2%減)となりました。経常利益は1億19百万円(前年同四半期比13.8%減)、四半期純利益は80百万円(前年同四半期比29.9%減)となりました。

2023年4月には、様々なステークホルダーに対し、必要な情報をわかりやすく発信するため、ホームページをリニューアルしました。今後も、企業活動を通じて、小売の経営課題を芯から解決に導き、収益の増加と、新たな挑戦による成長への取り組みを継続し、持続的な成長が実現できる強い企業を目指してまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産・負債及び純資産の状況

## (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、38億97百万円(前事業年度末は39億91百万円)となり、前事業年度末と比べ94百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、受取手形、売掛金及び契約資産が14百万円、その他に含まれている前払費用が16百万円増加したものの、現金及び預金が48百万円、電子記録債権が11百万円、仕掛品が20百万円、未収入金が46百万円減少したことによるものであります。

## (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、27億83百万円(前事業年度末は25億94百万円)

万円)となり、前事業年度末と比べ1億88百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、有形固定資産が64百万円、無形固定資産が58百万円、投資有価証券が73百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、23億89百万円(前事業年度末は23億83百万円)となり、前事業年度末と比べ5百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、支払手形及び買掛金が59百万円、未払法人税等が58百万円、役員賞与引当金が15百万円、賞与引当金が89百万円、その他に含まれている未払金が11百万円減少したものの、電子記録債務が34百万円、その他に含まれている未払消費税が15百万円、その他に含まれている未払費用が1億85百万円、その他に含まれている預り金が10百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、8億78百万円(前事業年度末は8億33百万円)となり、前事業年度末と比べ45百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、長期借入金が10百万円減少したものの、その他に含まれている繰延税金負債が53百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、34億12百万円(前事業年度末は33億69百万円)となり、前事業年度末と比べ42百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、その他有価証券評価差額金が49百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予想情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,315,311	2,266,762
受取手形、売掛金及び契約資産	1,194,440	1,208,484
電子記録債権	51,799	40,451
商品及び製品	37,905	46,540
仕掛品	93,815	73,583
原材料及び貯蔵品	97,594	92,966
未収入金	152,616	105,700
その他	50,007	64,901
貸倒引当金	△1,609	△1,609
流動資産合計	3,991,880	3,897,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	340,582	347,972
土地	598,103	598,103
その他(純額)	384,448	441,780
有形固定資産合計	1,323,134	1,387,855
無形固定資産		
その他	80,657	139,656
無形固定資産合計	80,657	139,656
投資その他の資産		
投資有価証券	525,511	598,617
破産更生債権等	4,905	4,905
投資不動産(純額)	617,077	612,953
その他	48,431	44,054
貸倒引当金	△4,905	△4,905
投資その他の資産合計	1,191,020	1,255,624
固定資産合計	2,594,812	2,783,136
資産合計	6,586,693	6,680,916
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	700,355	640,890
電子記録債務	689,601	723,692
短期借入金	450,000	450,000
一年内返済予定長期借入金	40,512	40,512
未払法人税等	69,964	11,177
役員賞与引当金	21,107	5,289
賞与引当金	166,326	76,450
その他	245,555	441,198
流動負債合計	2,383,422	2,389,209
固定負債		
長期借入金	232,952	222,824
退職給付引当金	512,182	514,233
その他	88,257	141,900
固定負債合計	833,392	878,958
負債合計	3,216,814	3,268,167

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	434,319	434,319
資本剰余金	415,947	415,947
利益剰余金	2,941,576	2,934,977
自己株式	△570,541	△570,541
株主資本合計	3,221,303	3,214,703
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	246,590	296,060
土地再評価差額金	△98,014	△98,014
評価・換算差額等合計	148,575	198,045
純資産合計	3,369,878	3,412,749
負債純資産合計	6,586,693	6,680,916

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	2,222,030	2,389,753
売上原価	1,743,465	1,899,980
売上総利益	478,564	489,773
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	118,530	126,477
賞与引当金繰入額	30,289	30,006
退職給付費用	2,802	4,072
役員賞与引当金繰入額	8,049	3,395
その他	202,049	226,781
販売費及び一般管理費合計	361,722	390,734
営業利益	116,842	99,039
営業外収益		
受取配当金	7,053	6,317
受取家賃	2,464	2,641
作業くず売却益	4,815	4,639
不動産賃貸収入	10,500	10,500
その他	6,365	4,104
営業外収益合計	31,198	28,202
営業外費用		
支払利息	2,688	1,505
不動産賃貸原価	5,152	4,867
その他	1,648	1,377
営業外費用合計	9,489	7,750
経常利益	138,550	119,491
特別利益		
投資有価証券売却益	8,013	-
特別利益合計	8,013	-
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税引前四半期純利益	146,564	119,491
法人税、住民税及び事業税	679	7,628
法人税等調整額	31,710	31,809
法人税等合計	32,389	39,438
四半期純利益	114,174	80,052

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。
- (5) セグメント情報  
当社の報告セグメントは単一であり、報告セグメントの記載を省略しております。
- (6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。

以 上